

I. 聖書には二本の木、二つの源、二つの道、二つの原則、二つの完成があります。

II. ペテロの第二の手紙は、この手紙が召会の墮落と背教の時に書かれたことを見せています:

A. 背教とは、神の真理の正しい道筋からそれて、聖書に啓示されているような、神のエコノミーの真つすぐな道から離反することです。そのような背教を通して、召会は墮落していきました。

B. 背教はペテロの第二の手紙の背景であり、著者の負担は信者たちに予防剤を注射して、背教の毒素に抵抗させることでした:

1. 神の救いは、ご自身を三一の中で信者たちの中に分け与えて、彼らの命また命の供給とすることです。これは神のエコノミー、神のご計画です。

2. 背教は信者たちを、困惑させる哲学という人の論理に導くことによって、神のエコノミーからそらしました:

a. これは信者たちを導いて、命を与える命の木にあずからせたのではなく、死をもたらす知識の木にあずからせました。

b. 蛇が神の言葉に疑問を起こし、暗に破壊することを通して、信者たちはエバのように、知識の木にもたらされ、命の木を食べる単純さからそらされ得るのです。

3. この死の毒素に対して予防剤を注射するために、ペテロはまず神聖な力を、最強で最も効果的な抗毒剤(解毒剤)として決めました:

a. この力は信者たちに、生み出し、供給する神聖な命と、神を表現する敬虔に関するすべてのものを備えます。

b. この豊富で神聖な備えは、信者たちがサタン的な背教に打ち勝つことができるようにします。

III. ペテロが背教を対処するのに用いた抗毒剤(解毒剤)は、命の備えと真理の啓示です:

A. 3~11節で、ペテロは正常なクリスチャン生活のために神聖な命の備えを用いて、背教を予防しました。

B. 12~21節で、彼は神聖な真理の啓示を用いて背教の中の異端を予防しました。

IV. 現にある真理とは、信者たちと共にあって、彼らがすでに受け入れており、今、所有している真理です:

A. 私たちは現にある、最新の真理を知り、真理の絶対性を保持する必要があります。

B. 私たちはある事柄が、真理の項目であるかどうかを、はっきりする必要があります:

1. 「主の御名を呼び求めることは真理でしょうか? いいえ、それは真理ではありません。主を呼び求めるのは必要なことであり、私たちはそのような実行を日常生活で持つ必要がありますが、主の御名を呼び求めることは真理ではありません。同じように、バプテスマ、長老職、足洗い、祈り読みも真理ではありません」。

2. 「信仰による義認は真理です。再生、聖別、更新、造り変え、同形化、変貌、神格においてではなく命と性質において神とされること、これらはすべて真理です」。

C. 多くの基本的な真理が、根本主義的と見られている信者たちによってさえ放棄されたので、主の回復にいる私たちは、真理のために戦う必要があります。

D. 今日、背教の時、私たちは神の純粋な御言の完全な啓示を証しし、神の御言の中に啓示された、さらに深い真理のために戦う必要があります。その真理は以下のものを含みます:

1. 神の永遠のエコノミーに関する啓示。

2. 神聖な三一に関する啓示。

3. すべてを含むキリストのパーソンと働きに関する啓示。

4. 究極的に完成された命を与える霊に関する啓示。

5. 神の永遠の命に関する啓示。

6. キリストのからだ、すなわち神の召会に関する啓示。』

E. 私たちは最高の真理を知り、証しする必要があります:神はキリストの中で人と成りました。それは人を神格においてではなく、命、性質、構成、表現において神とし、贖う神と贖われた人が結合され、ミングリングされ、合併されて、一つの実体、すなわち新エルサレムとなるためです。

V. 真理の道は、真理にしたがったクリスチャン生活の進路です。この真理は新約の内容の実際です:

A. 真理の道は真つすぐな道です。真つすぐな道を取ること、真つすぐな生活をして、曲がったりそれたりしないことです。

B. 真理の道は義の道です。義の道を取ること、神と人に対して正しい生活、神の義にしたがって、神の義の王国のために、神の統治上の裁きを受け入れることができる生活をするということです。

C. 真理の道は「この道」であり、神の新約エコノミーにおける主の完全な救いを意味します:

1. それは、神がキリストの贖いとその霊の油塗りを通して、ご自身を信者たちの中に分与する道です。

2. それは、信者たちが神にあずかり、神を享受する道です。

3. それは、信者たちが神を享受することによって霊の中で彼を礼拝し、迫害されたイエスと一になることによって彼に従う道です。

4. それは、信者たちが召会の中にもたらされ、キリストのからだの中へと建造されて、イエスの証しを担う道です。

D. 真理の道を取ること、真理に従順になることによって、私たちの魂をきよめることです。これは聖別する真理であり、神の実際の言葉です。

1. 真理に従順になることによって私たちの魂をきよめることは、私たちの全存在が神に集中し、私たちが心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして神を愛するようになります。

2. そのように私たちの魂をきよめた結果は、偽りのない兄弟愛、すなわち、神が愛する人を、私たちが心から熱烈に愛することです。

CP1: サタンは神の言葉に疑問を抱かせて、神に反感を抱かせようとする。したがってサタンと会話してはいけない

OL1: 神の救いは、ご自身を三一の中で信者たちの中に分け与えて、彼らの命また命の供給とすることです。これは神のエコノミー、神のご計画です。**OL2:** 背教は信者たちを、困惑させる哲学という人の論理に導くことによって、神のエコノミーからそらしました。これは信者たちを導いて、命を与える命の木にあずからせたのではなく、死をもたらす知識の木にあずからせました。**OL3:** 蛇が神の言葉に疑問を起し、暗に破壊することを通して、信者たちはエバのように、知識の木にもたらされ、命の木を食べる単純さからそらされ得るのです。**OL4:** この死の毒素に対して予防剤を注射するために、ペテロはまず神聖な力を、最強で最も効果的な抗毒剤として決めました。この力は信者たちに、生み出し、供給する神聖な命と、神を表現する敬虔に関するすべてのものを備えます。**OL5:** この豊富で神聖な備えは、信者たちがサタンの背教に打ち勝つことができるようにします。

創2:9 エホバ・神はその土地から、見て喜ばしく、食べるのに良い、すべての木を生えさせ、さらに園の中央に命の木と、善悪知識の木とを生えさせられた。**啓21:10** そして彼は私を霊の中で、大きな高い山へ連れて行き、聖なる都エルサレムが、天から出て神から下って来るのを私に見せたが。**20:14** また死とハデス[陰府]が火の池の中へと投げ込まれた。**Ⅱペテロ1:3** 彼の神聖な力は、ご自身の栄光と美德によって、私たちを召してくださった方を知る全き認識を通して、命と敬虔にかかわるすべての事柄を、私たちにすでに与えてくださっています。

OL6: 私たちは現にある、最新の真理を知り、真理の絶対性を保持する必要があります。**Ⅱペテロ1:12** こういうわけで、あなたがたはこれらの事柄を知っており、また現にある真理の中で堅固にされているのですが、私は常にこれらの事柄を、あなたがたに思い起こさせようとしているのです。**ヨハネ18:37** …私はこのために生まれ、このために世に来たのである。それは、真理を証しするためである。すべて真理に属する者は、私の声を聞く。**8:32** またあなたがたは真理を知る。そして真理はあなたがたを自由にする。

「現にある真理」は「最新の真理」とも訳すことができます。「最新の真理」とは何でしょうか？ あらゆる真理は聖書の中にありますが、人の愚かさ、不真実、過失、不従順によって、多くの真理が失われ、人から隠されています。時が満ちて、神はある時期になって、ある真理を解放し、それらをもう一度、新しく現されます。

例えば、マルチン・ルターは十六世紀に神によって起こされました。神は彼の目を開いて、信仰による義認を見せました。この事実はルターの時代以前にもすでにありました。ルターはこの真理を最も良く知った人であり、この真理を最も良く認識したのです。こういうわけで、この真理はあの時代に「現にある真理」となったのです。

主のすべての働き人は、真理の絶対性を保持しなければなりません。これは人が自分自身から解放されてはじめて可能になります。多くの人は、真理に対して絶対的ではありません。彼らは、人、物事、個人的な感情に影響されています。もし人が真理に対して絶対的でなければ、働きの過程で、人、自己、自分の願望の

ために真理を犠牲にするでしょう。主のしもべの基本的な要求は、真理を犠牲にしないことです。

適用:新人及び青少年・大学生編

創3:1 さて、蛇は、エホバ・神が造られた野のあらゆる動物の中で、最もこうかつであった。蛇は女に言った、「『あなたがたは園のどの木からも食べてはならない』と、神は本当に言われたのですか?」**FN** **神は本当に言われたのですか?** 女を誘惑する時、サタンはまず彼女の思いに触れ、神の言葉に疑問を抱かせて、彼女に神の言葉を疑わせました。蛇の質問はエバの疑っている思いを掻き立てて、彼女が霊を用いて神と接触することができないようにしました。エバが知識の木から食べる前にさえ、サタンの邪悪な思いは彼女の中に入って、彼女の思いを汚染しました。**2** 女は蛇に言った、「園の木の实から私たちは食べてよいのです。**3** しかし、園の中央にあるあの木の实について、神は、『あなたがたはそれから食べてはならないし、それに触れてもならない。あなたがたが死なないためである』と言われました」。 **4** すると、蛇は女に言った、「あなたがたは必ずしも死ぬことはありません! **5** それは、あなたがたがそれから食べる日に、あなたがたの目が開かれ、あなたがたが神のようになり、善と悪を知るようになることを、神は知っておられるからです」。 **6** そこで、女が見ると、その木は食べるのに良く、目に喜ばしく、その木は賢くなるのに好ましかったので、彼女はその実を摘み取って食べた。彼女はまた一緒にいた夫に与えたので、夫も食べた。

あなたはエバの失敗から学ぶべきです。エバの失敗はサタンと会話したことです。あなたは神の言葉を単純に受け入れ、サタンの言葉を徹底的に(部分的にではなく)拒絶することを学んでください。このことにおいて決して、あなたの好みや感情を挿入してはいけません。サタンと会話すると思いが汚されてしまい、最終的に魂全体が汚れてしまいます。

兄弟の証: 大学の時、指導教授が召会の責任者でした。私は月に1回の福音集会によく人を連れてきて、何人も救われましたので、集会の数日後、その責任者の兄弟との交わりで、私は褒めてもらえると考えていましたが、毎回厳しく叱責されました。「私は褒めてもらうために交わりを持ったのに、叱責された。なぜいつもこうなのか?」と考えると、怒りがこみ上げてきました。この時、内側で「あなたは交わりがあなたに合うものであれ、合わないものであれ、単純に開き、受け入れるべきではないか」と主の声を聞きました。私は主のあわれみにより、サタンが兄弟に対して反感を抱かせる提案を拒絶し、主の語りかけを受け入れ、導いている兄弟と一を保つことができました。その結果、福音を伝える霊を持ち続けることができました。主に感謝します。

祈り: おお主イエスよ、エバを誘惑したサタンは、様々な方法で主や兄弟姉妹に対して、また主の言葉に対して疑問を抱かせるような語りかけをします。私はサタンの語りかけを、徹底的に拒絶することを学びます。なぜならサタンは私より賢く、サタンと会話すると、思いが汚染され、神と兄弟姉妹に反感を持つようになるからです。主よ、私は救いのヘルメットを取ります。純粹に主を愛し、主に従うために私の思いを守ってください。

CP2: 神聖な分与の下で仕事や研究を行い、生活の中で神のエコノミーのビジョンを適用することを学ぶ

OL1: 今日、背教の時、私たちは神の純粋な御言の完全な啓示を証し、神の御言の中に啓示された、さらに深い真理のために戦う必要があります。その真理は以下のものを含みます:

- ① 神の永遠のエコノミーに関する啓示。
- ② 神聖な三一に関する啓示。
- ③ すべてを含むキリストのパーソンと働きに関する啓示。
- ④ 究極的に完成された命を与える霊に関する啓示。
- ⑤ 神の永遠の命に関する啓示。
- ⑥ キリストのからだ、すなわち神の召会に関する啓示。

第一の項目は、神の永遠のエコノミーに関してです。神のエコノミーは神のご計画です。このご計画のために、神は行政上の案配をされました。それは行政上の管理であり、ご自身を、手順を経て究極的に完成されたすべてを含む霊を通して、彼の選ばれ、再生され、聖別され、造り変えられた三部分から成る人たちの中に分与し、彼らが命と性質において神となることができ、しかも神格にあずかることはないということです。こうして、彼らはキリストのからだとして構成され、究極的に拡大され建造されて、神の永遠の団体の表現としての新エルサレムとなります。

第二の主要な項目は、神聖な三一に関してです。神聖な三一の三者は同時同存し、相互内在しています。三者は区別されていますが、分離されることはできません。これはすべて、教理的な論争や研究のためではなく、私たちの経験と享受のためです。神聖な三一は、神をご自身の選ばれた人々の中に分与し、彼らが彼の永遠のエコノミーを完成することです。

第三の主要な項目は、すべてを含むキリストのパーソンと働きに関してです。このすべてを含むキリストは、万物の上の第一位である方、すべての中ですべてを満たしている方として、神のエコノミーの中心また円周です。肉体と成ること、人の生活、死、復活、昇天を経過することによって、彼はご自身を信者たちの中に分与して彼らを再生し、聖別し、更新し、造り変え、神の長子のかたちと同形化し、究極的に彼らを栄光化されます。

第四の主要な項目は、究極的に完成された命を与える霊に関してです。その霊は手順を経過して、究極的に完成された霊と成られました。…神の霊は、複合され、造り変えられ、強化された後、三一の神の究極的に完成された霊と成りました。

第五の主要な項目は、神の永遠の命に関してです。…「永遠の」とは、質、量、時間、空間、存在において、完全で全体的であることを暗示します。私たちはこの永遠の命の中で再生され、造り変えられ、私たちの永遠の栄光としての究極的に完成された三一の神をもって栄光化されます。これが永遠の命です。

第六の項目は、キリストのからだ、すなわち神の召会に関してです。…そのような召会は神の家またキリストのからだとして、宇宙で唯一ですが、地上の多くの異なる地方で現され表現されて、多くの地方召会となります。この召会の命における交わりは、宇宙的であれ地方的であれ唯一です。

適用: ビジネスパーソン・大学院生編

聖書の基本的で重要な啓示は、左の6項目です。これらはすべて神のエコノミーと関係があります。神のエコノミーは、キリストを人の中に分与して、キリストのからだを建造することです。ビジネスパーソンや大学院生は、自分の仕事や研究を神のエコノミーの下で、神聖な分与を享受して、遂行してください。リー兄弟は、召会生活の1/4は集会であり、3/4は生活であると言われました。あなたは、日常生活で兄弟姉妹と交わるべきであり、ビジネスライフなどの実生活においても、召会生活の一部分と考えるべきです。そして、要求に満ちたビジネスライフで、主の中で霊に従って歩くことで、要求を満たすことを学んでください。**ローマ 8:4** それは律法の義の要求が、肉にしたがってではなく、霊にしたがって歩く私たちにおいて、満たされるためです。6 肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です。

例えば、会社の上司が期限の決まった難しいプロジェクトを遂行するようにあなたに指示しました。あなたの実生活は召会生活の継続、あるいは召会生活の一部分ですので、あなたは霊を活用し、思いを開き、思いを霊に付けて、「主イエスよ、このような難しいプロジェクトを短期間で遂行することはとてもできないと私は思います。しかし、今私は霊を開き、思いを開いてあなたと交わります。業務遂行において、あなたを経験させてください。会社や上司もあなたの環境上のアレンジメントの下で、私に与えられました。従って、上司の指示にも私は主の中で従う必要があります。私はビジネスライフにおいても、主を享受し、表現したいです」と祈ってください。そうすれば、主は喜んでご自身を私たちの中に更に分与してくださいます。これが神のエコノミーの下でのビジネスライフであり、召会生活の一部分であるビジネスライフです。このようにキリストを経験した後、このキリストを他の人に分与することができます。また他の人の証しを聞いて、あなたは更にキリストを学ぶことができます。

あなたは神のエコノミーのビジョンを単なる良い教えと考えて、実生活に適用しなくてもよいものとして扱ってははいけません。必ず実生活に適用してください。適用することはとても簡単です。① 神のエコノミーのビジョンを見て、それを実生活に少しずつ適用するために祈る、② 実生活で適用する、③ うまうまずたゆまず祈り、適用し実行することです。あなたは失敗を恐れてはいけません。以下はリー兄弟の晩年の円熟した務めにおける祈りです、「…私たち自身はこの日に至るまで、あなたの御前になおも役に立たないもの、なお欠け目があるもの、なお欠点だらけのものです。おお主よ、あなたが私たちに見せてくださったものは、あまりにも多く、あまりにも高いのですが、私たちが実際に入り込んだものは非常に足りないことをあなたの御前に認めなければなりません…」。

祈り: おお主イエスよ、神のエコノミーのビジョンをはっきりと見せてください。そしてそれを実生活に適用するために、祈ります。献身を更新し、適用しない習慣を主の中で主と共に主のために突破することができますように。主の御名の中で祈ります。アーメン!

CP3:私たちは聞いて受け入れた真理に対する従順によって、自分の魂をきよめる責任がある

OL1:私たちは最高の真理を知り、証しする必要があります。神はキリストの中で人と成りました。それは人を神格においてではなく、命、性質、構成、表現において神とし、贖う神と贖われた人が結合され、ミングリングされ、合併されて、一つの実体、すなわち新エルサレムとなるためです。ヨハネ14:20 その日には、私が私の父の中におり、あなたがたが私の中におり、あなたがたの中にいることを、あなたがたは知るであろう。啓21:2 私はまた聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように整えられて、天から出て神から下って来るのを見た。11 それは神の栄光を持っていた。その光は最も尊い宝石のようであり、水晶のように透明な碧玉のようであった。

OL2:真理に従順になることによって私たちの魂をきよめることは、私たちの全存在が神に集中し、私たちが心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして神を愛するようにします。**OL3:** そのように私たちの魂をきよめた結果は、偽りのない兄弟愛、すなわち、神が愛する人を、私たちが心から熱烈に愛することです。

マルコ12:30 心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、主であるあなたの神を愛しなさい。

I ペテロ1:22 あなたがたは真理に対する従順によって、自分の魂をきよめて、偽りのない兄弟愛へと至ったのですから、純粋な心から互いに熱く愛し合いなさい。ヨハネ17:17 彼らを真理の中で聖別してください。あなたの言は真理です。

真理に対する従順によって私たちの魂をきよめるとは何を意味するのかを理解するためには、この節の真理の意味について明確でなければなりません。ここの真理は聖別する真理であり、それは神の実際の言葉です。この節の真理は教理を意味するものではありません。真理は、神の言葉の中に含まれ、それによって伝達される実際です。神は私たちのために、私たちの魂をきよめるのはではありません。私たちは聞いて受け入れた真理に対する従順によって、自分でこれを行なう必要があります。仮に、ある兄弟が主の回復について、ある期間もがくとします。結局、神のあわれみと彼の内側の聖別する霊の動きによって、彼は宣言します、「主を賛美します！私の思いは一つの目標で締められます。私の感情は完全に一人のパーソン、主ご自身の上に置かれます。私には他の愛の対象はありません。ですから、私の意志は従って強い決定を下します。私は主のためであり、主の回復のためです。私は他の何にも注意しません」。これが真理に対する従順です。22節でペテロは、私たちは真理に対する従順によって、自分の魂をきよめて、偽りのない兄弟愛へと至ると言います。私たちの魂のきよめは、私たちの全存在を神に集中して、心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして彼を愛することであるので、それは偽りのない兄弟愛という結果になります。私たちは、神が愛されるすべての人を、心から熱く愛します。まず、神の再生は聖なる生活という結果になります。次に、彼の聖別(きよめ)は兄弟愛という結果になります。

適用:奉仕者編

I ペテロ1:22の啓示によれば、人は真理に対する従順によって自分の魂をきよめます。

ヨハネ6:63 命を与えるのはその霊である。肉は何の役にも立たない。私があるがたに語った言葉は霊であり、命である。主は聖書の言葉を通して時に応じた新鮮な言葉を語られます。集会中にあるいは御言葉を祈り読みしている時に、主はレーマの言葉をあなたに語りかけます。この新鮮な言葉はあなたを潤し、供給します。しかし、レーマの言葉を聞くだけで実行しないなら、あなたは成長できなくなってしまう。レーマの言葉を聞いて、潤されることだけで満足してはいけません。このこともあなたが真理に従順でないことです。あなたは真理に従順でなければ魂をきよめることはできず、魂を尽くして神を愛することはできません。マタイ7:26 そして、私のこれらの言を聞いて行なわない者はすべて、自分の家を砂の上に建てた愚かな人にたとえることができる。FN **自分の家を砂の上に建てた「砂」**は、人の観念や天然の方法のことを言います。もし私たちが人の観念や天然の方法にしたがって生き、働くなら、私たちの生活と働きは、沈む砂の上に建てられています。これはその広い門から入り、崩壊に至るその幅広い道を歩くことです。

兄弟の証: 私は忙しく仕事をしているとサタンが次のように提案してきました、「ビジネスライフは現実なので、神のエコノミーなどというものは構ってられないのではないか?」。しかし私は信仰によって、「神のエコノミーが聖書の最も重要な真理である。仕事が忙しくても、あるいは上手くいっていても、真理を変えることはできない。サタンよ、私はお前の提案を無視する。私は神のエコノミーのビジョンを適用することで失敗することがあってもなお、神のエコノミーを中心に据える。サタンよ、お前は十字架に帰れ!」。

また以前、劉遂兄弟が神の定められた道について交わられた時、自分の観念に合わない場合、実行しない言い訳を探している自分を発見しました。私は劉遂兄弟の通訳をしていて、彼が代価を払い主の中で私たちに懇願していることが分かっていたにもかかわらず、劉遂兄弟を通しての主の語りかけを受け入れることが難しかったのです。しかし主のあわれみと恵みの故に、悔い改めて、「主よ、私の内には古い固定観念や頑固さがあり、あなたに従順に従うことができません。あなたに従うことで、自分で選択して従っています。これでは真にあなたに従っているとは言えません。主よ、私の思いを更新して、従わない古い習慣から私を救ってください。私は召会の責任者ですので、私が従うかどうかは兄弟姉妹も見ています。私が悪い模範にならないように助けてください」と祈りました。このように祈ることで、主の恵みを受けて従順に従うことを少しずつ実行することができました。主に感謝します。

祈り: おお主イエスよ、心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、主を愛するために、私は自分の魂をきよめる必要があります。あなたの語りかけを聞いても行わない、砂の上に家を建てる愚かな人になることがないように、従順に真理と真理に基づく時に応じた主の語りかけに従う恵みを与えてください。アーメン!